SONY

2-634-401-**02** (2)

Data Projector

取扱説明書“メモリースティック”編

MEMORY STICK ™

VPL-CX86
VPL-CX76

目次

お使いになる前に

準備する

スライドを見る

ファイルを設定・表示する

便利な機能

“メモリースティック”を操作する

その他

主な特長

付属のソフトウェア Projector Station for Presentation で作成されたプレゼンテーション資料や、デジタルカメラで撮影した画像を“メモリースティック”に保存しておくとコンピューターなしで手軽にプレゼンテーションを行うことができます。

プレゼンテーションビューワー

Microsoft PowerPoint など Projector Station for Presentation で作成されたプレゼンテーション資料でスライドショーを行うことができます。

ピクチャービューワー

デジタルカメラなどで撮影した DCF[1)]準拠の JPEG 形式の静止画や MPEG MOVIE などソニー製品にて記録した MPEG1 形式の動画ファイルを表示したり、スライドショーを行うことができます。スライドの現われかたや、画面切り換えの手動／自動を設定することもできます。

本機では、ソニー製品にて記録された以下の MPEG1 形式のファイルを再生することができます。
MPEG MOVIE、MPEG MOVIE AD、MPEG MOVIE EX、MPEG MOVIE HQ、MPEG MOVIE HQX、MPEG MOVIE CV、VAIO Giga pocket の MPEG1（ビデオ CD 相当）

[1)] DCF：Design rules for Camera Film systems

デジタルカメラモード

DCF 準拠のデジタルカメラで撮った JPEG、MPEG1 形式の画像ファイルだけを表示することができます。

オートラン

あらかじめ Projector Station for Presentation や Memory Stick ホーム上でオートラン設定した画像ファイルを保存した“メモリースティック”を入れるだけで自動的に入力が“メモリースティック”に切り換わり、スライドショーを始めることができます。

スタートアップ

プロジェクターの電源を入れたとき、選んでおいた画像ファイルを約 30 秒間投影することができますので、プロジェクターに入力信号が無くてもフォーカスやズームの調整が可能です。スタートアップ画像として、プロジェクターにあらかじめ登録してあるオリジナル画像または、“メモリースティック”内の任意の画像ファイルを設定することができます。

使用上のご注意

・データの損失を防ぐため、データは頻繁にバックアップを取るようにしてください。万一、データが損失した場合、当社は一切その責任を負いかねます。
・お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このマニュアルについて

このマニュアルは、“メモリースティック”に保存されたファイルを使ってスライドを見るための操作について説明しています。

◆プレゼンテーション資料の作成について詳しくは、付属の Projector Station for Presentation のヘルプ（CD-ROM）をご覧ください。

◆プロジェクターの通常の操作については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。
“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。
“メモリースティック”には、標準サイズと小型サイズの“メモリースティック デュオ”があります。“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。
さらに大容量のデータを扱える“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”も用意されています。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、用途に応じて以下の6種類があります。

- “メモリースティック PRO”
  “メモリースティック PRO”対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（“マジックゲート”）を搭載した“メモリースティック”です。
- “メモリースティック”
  著作権保護技術（“マジックゲート”）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる“メモリースティック”です。
- “メモリースティック”（“マジックゲート”／高速データ転送対応）
  著作権保護技術（“マジックゲート”）を搭載し、高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。“メモリースティック”対応商品、“マジックゲート メモリースティック”対応商品および“メモリースティック PRO”対応商品でご使用いただけます*。本機は、この“メモリースティック”の高速データ転送に対応していません。
  * すべての対応商品における動作を保証するものではありません。（一部使用できない対応商品がございます。）
- “マジックゲート メモリースティック”
  著作権保護技術（“マジックゲート”）を搭載した“メモリースティック”です。
- “メモリースティック -ROM”
  あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の“メモリースティック”です。データの記録や消去はできません。
- “メモリースティック”（メモリーセレクト機能付）
  内部に複数のメモリー（128MB）を搭載している“メモリースティック”です。
  本体裏面のメモリーセレクトスイッチにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択できます。各メモリーを同時に、また連続で使用することはできません。

本機で使用可能な“メモリースティック”

“メモリースティック”メディア対応表

	記録／再生
“メモリースティック” “メモリースティック”（メモリーセレクト機能付） “メモリースティック デュオ”	○
“メモリースティック”（“マジックゲート”／高速データ転送対応） “メモリースティック デュオ”（“マジックゲート”／高速データ転送対応）	○ *1*2
“メモリースティック - ROM”	再生のみ
“マジックゲート メモリースティック” “マジックゲート メモリースティック デュオ”	○ *1
“メモリースティック PRO” “メモリースティック PRO デュオ”	○ *1*2*3

*1 “マジックゲート”機能が必要なデータの記録／再生はできません。

*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。

*3 本機では 1GB までのソニー製“メモリースティック PRO”で動作確認しております。1GB を超える容量のソニー製“メモリースティック PRO”につきましては動作を保証しておりません。また、2GB を超える“メモリースティック PRO”には対応しておりません。

- 他社製“メモリースティック”、“メモリースティック PRO”につきましては動作を保証しておりません。
- 動作を保証していない“メモリースティック”または“メモリースティック PRO”をご使用になられた場合、不具合が発生する可能性がありますのでご使用はお控えください。ご使用になった上での不具合については一切補償いたしません。
- “メモリースティック デュオ”を VPL-CX86 にて使用する場合は、必ず別売りのメモリースティック デュオ アダプターに装着した状態でご使用ください。そのまま挿入しますと、“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。

“メモリースティック PRO”、“メモリースティック”（“マジックゲート”／高速データ転送対応）について

本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。

“メモリースティック”（“マジックゲート”／高速データ転送対応）について

“メモリースティック”（“マジックゲート”／高速データ転送対応）を使用した場合の転送速度は、お使いの“メモリースティック”対応機器により異なります。

“メモリースティック PRO”について

“メモリースティック PRO”を使用した場合のデータ転送速度、および各機

能はご使用の機器の仕様により異なります。本機は、
・“マジックゲート”機能に対応しておりません。
・アクセスコントロール機能には対応していないため使用できません。

“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”について

VPL-CX86：

・“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
メモリースティック デュオ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
・“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
・“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
・メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

VPL-CX76：

本機には、スタンダード／デュオ　サイズ対応スロットが搭載されています。このスロット搭載の機器では、“メモリースティック”のサイズを自動的に判断する機構により、メモリースティック デュオ アダプターなしで、標準サイズの“メモリースティック”、小型の“メモリースティック デュオ”のどちらでもご使用いただけます。
・複数の“メモリースティック”を挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
・ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
・“メモリースティック デュオ”は、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
・“メモリースティック デュオ”サイズの“メモリースティック”をご使用の際は、メモリースティック デュオ アダプターに装着しないでお使いください。

再生できるファイルの容量について

再生できるファイルの容量は、本機の仕様上 1 ファイルにつき 2GB 未満です。

データ読み込み／書き込みスピードについて

お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

アクセスコントロール機能について

機器が持つ固有のキーを用いて“メモリースティック”への読み／書きを禁止することにより、大事なデータを他人に見られたり消去されないようにできる機能です。

・他機でアクセスコントロールがかけられた“メモリースティック”のデータは、本機では読み書きできません。本機でデータの読み書きをするには、アクセスコントロールがかけられた機器で解除してください。

メモリーセレクト機能について

・各メモリーを同時に、また連続で使用することはできません。
・対応機器の“メモリースティック”スロットに挿入した状態で、メモリーセレクトスイッチの切り換えは、故障の原因になりますので決して行わないでください。万一上記の操作を行い故障した場合の保証は致しかねます。
・メモリーセレクトスイッチを切り換える際は、確実にスイッチを端まで移動させてください。切り換えが不充分な場合、故障、誤動作の原因となります。
・対応機器の“メモリースティック”スロットに挿入する前に、ご使用になるメモリーが選択されていることをご確認ください。
・メモリーセレクト機能付き“メモリースティック”では、“メモリースティック”内部のメモリーを切り換えスイッチにより選択してご使用いただけます。対応機器では、選択されているメモリーのみを認識しますので、下記のような場合にご注意ください。
  − フォーマット（初期化）処理は選択されたメモリーのみに行われます。
  − 残容量表示は選択されたメモリーのみの残容量です。
  − エラー表示は選択されたメモリーに対してのエラー表示です。
  それぞれ選択されていないメモリーとは独立で扱われます。

“マジックゲート”とは？

“マジックゲート”はソニーが開発した著作権を保護する技術の総称です。

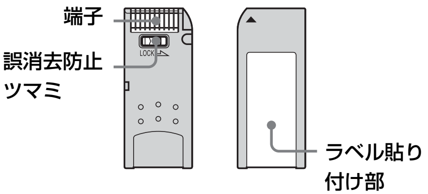
ファイルの保存形式

Projector Station for Presentation で作成したプレゼンテーション資料は以下の形式で“メモリースティック”に保存されています。

・JPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮した画像ファイル

（DCF 準拠）。ファイル拡張子は「.jpg」です。
・画像ファイルの保存先、設定情報などをまとめたソニーオリジナルのソニープロジェクタープレゼンテーションファイル（SPP ファイル）。

“メモリースティック”について



・誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
  ＊ 一部の“メモリースティック”（“メモリースティック デュオ”）には誤消去防止スイッチが付いていません。誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようご注意ください。
・“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
・以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
・大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

ご注意

・ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
・ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
・“メモリースティック デュオ”／“メモリースティック PRO デュオ”のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。
・持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
・端子部には手や金属などで触れないでください。
・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・分解したり、改造したりしないでください。
・水にぬらさないでください。
・以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック”のフォーマットについて

“メモリースティック”は、出荷時に専用の標準フォーマット形式でフォーマットされています。お客様ご自身で“メモリースティック”のフォーマットをされる場合には、本機でフォーマットされることをお奨めします。

“メモリースティック”をパソコンでフォーマットするときのご注意

お手持ちのパソコンなどで“メモリースティック”をフォーマットする場合は、次の点にご注意ください。
パソコンでフォーマットした“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。一度パソコンでフォーマットした“メモリースティック”を、本機で使用するには、本機で再度フォーマットする必要があります。なお、この場合“メモリースティック”内に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

画像の互換性について

Projector Station for Presentation を使用して“メモリースティック”に保存された画像ファイルは、電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格「Design rules for Camera File systems」に対応しています。
Adobe Photoshop などで JPEG に変換されたファイルは Projector Station for Presentaion を使用して DCF 準拠の JPEG に再変換してください。

アクセスランプ点灯中および点滅中は

データの読み込み、または書き込みを行っています。このとき、コンピューターやプロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。また、コンピューターやプロジェクターの電源を切ったり、“メモリースティック”を取りはずしたりしないでください。データが破壊されることがあります。

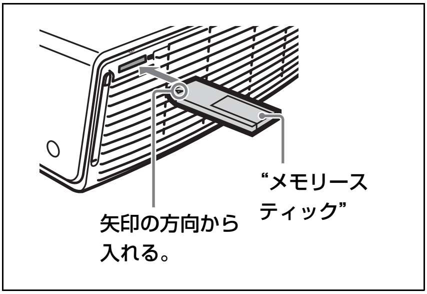
商標について

- Microsoft および PowerPoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または、商標です。
- Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated （アドビシステムズ社）の商標です。
- コンパクトフラッシュは米国 SanDisk 社の商標です。
- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick Duo”（“メモリースティック デュオ”）および MEMORY STICK DUO は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick PRO”（“メモリースティック PRO”）および MEMORY STICK PRO は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick PRO Duo”（“メモリースティック PRO デュオ”）および MEMORY STICK PRO DUO は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick-ROM”（“メモリースティック -ROM”）および MEMORY STICK-ROM は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（“マジックゲート”）および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。

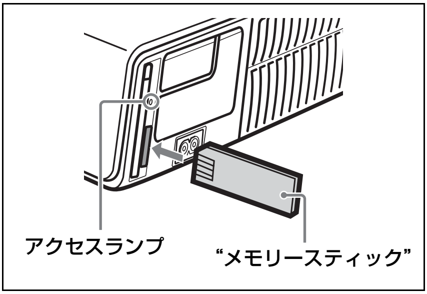
“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”をプロジェクターのメモリースティック スロットに「カチッ」と音がするまで挿入します。

VPL-CX86



VPL-CX76

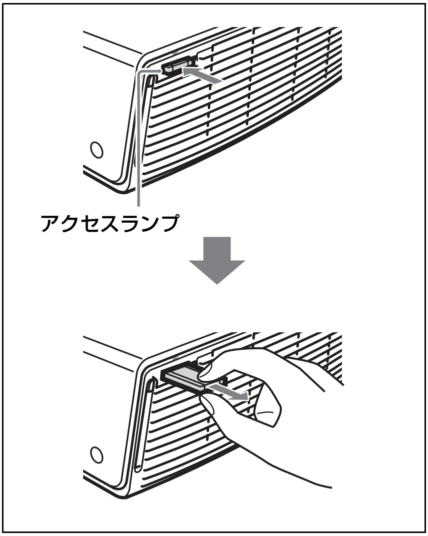


ご注意

- “メモリースティック”は ◁ の方向に正しく入れてください。
- “メモリースティック”をワイヤレス LAN カードスロットには挿入しないでください。
- コンパクトフラッシュスロットに対応したメモリースティック デュオ アダプターを使用しても、ワイヤレス LAN カードスロットで“メモリースティック”を使用することはできません。
- 本機では Projector Station for Presentation からメモリースティック スロットに挿入された“メモリースティック”にはアクセスできません。

“メモリースティック”を取り出すには

アクセスランプが点灯していないことを確認してから“メモリースティック”を奥まで押し込みます。いったん手を離すと“メモリースティック”が少し出ますので、“メモリースティック”を引き抜いてください。



Memory Stick ホームの操作方法

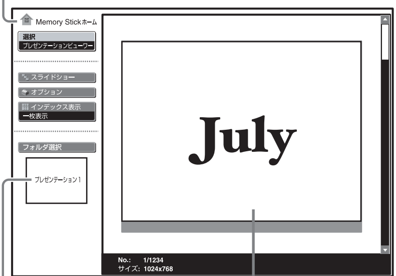
入力を"メモリースティック"にしたときの初期画面を Memory Stick ホームと言い、ビューワーの選択などイベントの設定と実行、オートランやスタートアップなどの設定、"メモリースティック"のフォーマットなどを行います。キー操作は下部に出るガイド表示を参照してください。設定にはリモコンまたはコントロールパネルをお使いください。
選択された項目はバーが黄色になります。

◆操作について詳しくは、各項目の説明をご覧ください。

1 （"メモリースティック"）キーを押す。

Memory Stick ホームが表示されます。

Memory Stick ホームのマーク

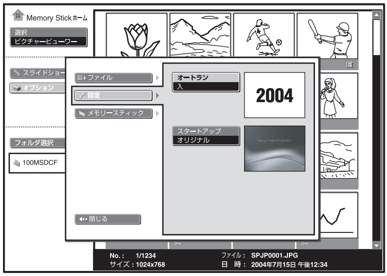


選ばれたコンテンツのタイトルまたはフォルダ名

選ばれたコンテンツの一枚目の画像ファイル

2 ↑または↓キーを押して項目を選び、ENTER キーを押す。

3 ↑または↓キーを押して設定したい項目を選び、ENTER キーを押す。



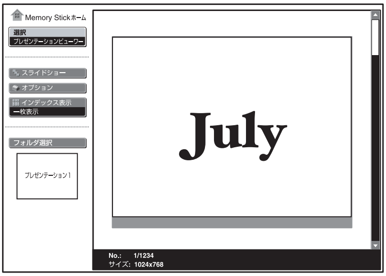
プレゼンテーション資料を表示する

ープレゼンテーションビューワー

Projector Station for Presentation を使って Microsoft PowerPoint などから作成されたプレゼンテーション資料でスライドショーを行うことができます。

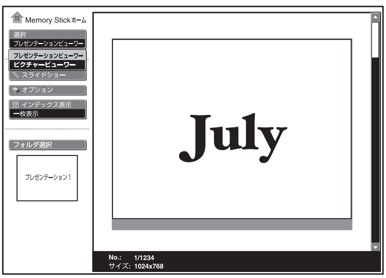
◆Projector Station for Presentation の説明については、CD-ROM 内のヘルプをご覧ください。

1 キーを押して、Memory Stick ホームを表示する。



2 「選択」を選び、ENTER キーを押す。

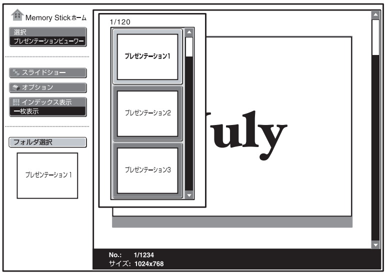
ドロップダウンリストが表示されます。



3 「プレゼンテーションビューワー」を選び、ENTER キーを押す。

4 「フォルダ選択」を選び、ENTER キーを押す。

フォルダ選択メニューが表示されます。



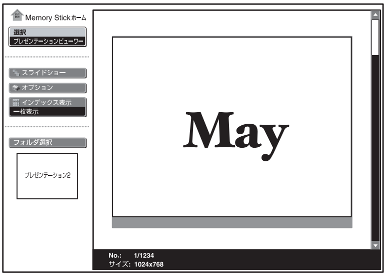
複数の JPEG ファイルをまとめたフォルダーをコンテンツと呼び、プレゼンテーションビューワーでは、コンテンツ単位で選択を行ないます。

ただし、この場合のコンテンツとはプレゼンテーション資料を指します。

表示されているコンテンツ以外のコンテンツを選択する場合は、➡キーを押してフォルダ選択メニューのスライダーを選び、⬇または⬆キーを押します。3つのコンテンツ単位（ページ単位）で次のコンテンツが表示されます。

5 プレゼンテーションしたいコンテンツを選び、ENTER キーを押す。

選択したプレゼンテーション資料のタイトル名と一枚目の画像ファイルが表示されます。



6 「スライドショー」を選び、ENTER キーを押す。

7 「スタート」を選び、ENTER キーを押す。

スライドショーを実行するときは

Projector Station for Presentation でプレゼンテーション資料を作成する際にスライドショーの設定を「自動」に設定すると、設定に従って自動的にスライドが送られます。スライドショーを終わりたいときは、キーまたはENTER キーを押してください。「手動」に設定してあるときは次のキーを押してください。

➡：スライドを送りたいとき

⬅：スライドを戻したいとき

：スライドショーを終わりたいとき

実行せず Memory Stick ホームに戻るには

「プレゼンテーション資料を表示する」の手順 **6** で、スライドショーを実行せずに Memory Stick ホームに戻るには、「閉じる」を選びます。

スライドショーをすぐに実行する

「プレゼンテーション資料を表示する」の手順 **1** から **5** の準備をした後で、入力を切り換えても設定は記憶されています。

各設定をした後、スライドショーを始めたいときにリモコンの キーを押すと、入力が"メモリースティック"に切り換わり、もう一度 キーを押すとスライドショーを始めることができます。終了したいときは、スライドショーの設定が「自動」に設定してあるときは、 キーまたは ENTER キーを、「手動」に設定してあるときは、 キーを押してください。

ファイル表示を切り換える

画像ファイルを「一枚表示」したり、「一覧表示」することができます。

1 Memory Stick ホームで「インデックス表示」を選び、ENTER キーを押す。

2 設定したい項目を選び、ENTER キーを押す。

一枚表示：一枚の画像だけ表示される。

一覧表示：コンテンツの中の画像がサムネイル表示される。

スライドショーを繰り返す

1 Memory Stick ホームで「スライドショー」を選び、ENTER キーを押す。

2 **「繰り返し」を選び、ENTER キーを押す。**

入：スライドショーを繰り返し実行する。

切：スライドショーを 1 回のみ実行する。

選択している画像からスライドショーを実行する

一枚表示または一覧表示されているサムネイルの画像から直接スライドショーを実行できます。

1 **↑、↓、← または → キーを押して、スライドショーを始めたい画像を選び、ENTER キーを押す。**

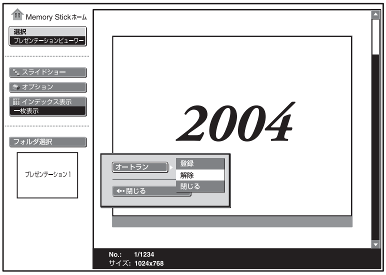
2 **↑ または ↓ キーを押して、画像設定メニューの「スライドショー」を選び、ENTER キーを押す。**

ファイルのオートラン設定をする

オートラン設定したプレゼンテーション用の資料を“メモリースティック”に入れ、プロジェクターのメモリースティック スロットに挿しただけで、自動的にチャンネルを“メモリースティック”に切り換え、スライドショーを始めることができます。

1 **Memory Stickホームで選択したプレゼンテーション資料のタイトルを選び、ENTER キーを押す。**

2 **「オートラン」を選び、ENTER キーを押す。**



3 **設定したい項目を選び、ENTER キーを押す。**

登録：オートランを設定する。

解除：オートランの設定を解除する。

閉じる：オートランの設定をしないとき。

ご注意

オートランは、“メモリースティック”1 枚につき 1 つのプレゼンテーション資料のみ設定することができます。
オートラン機能を使うには、「プレゼンテーションを自動的に始める －オートラン」（28 ページ）の設定を「入」に設定してください。

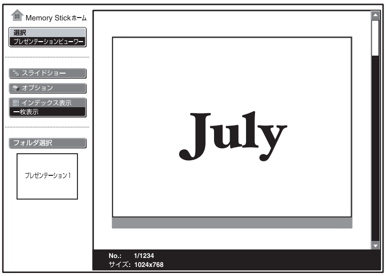
画像ファイルを表示する

－ピクチャービューワー

デジタルカメラなどで撮影したDCF準拠のJPEG形式の静止画ファイルやMPEG MOVIEなどソニー製品にて記録されたMPEG1形式の動画ファイルでスライドショーを行うことができます。

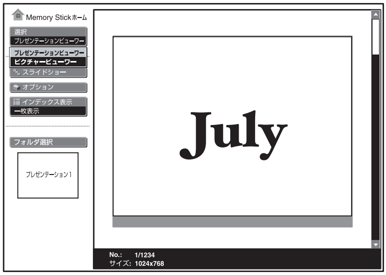
◆画像設定メニュー（インデックス / 静止画全画面）の操作については「画像ファイルを操作する」(21ページ) をご覧ください。

1 キーを押して、Memory Stick ホームを表示する。



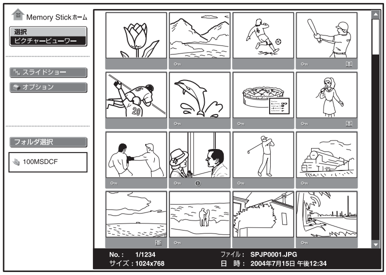
2 「選択」を選び、ENTERキーを押す。

ドロップダウンリストが表示されます。



3 「ピクチャービューワー」を選び、ENTERキーを押す。

フォルダー内にある画像ファイルのサムネイルが表示されます。



各画像ファイルの下に次のアイコンが表示されます。

: プロテクトを設定すると表示される。

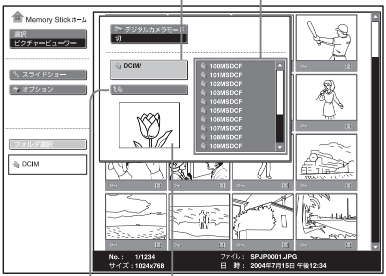
: スタートアップを設定すると表示される。

: 動画アイコン

4 「フォルダ選択」を選び、ENTERキーを押す。

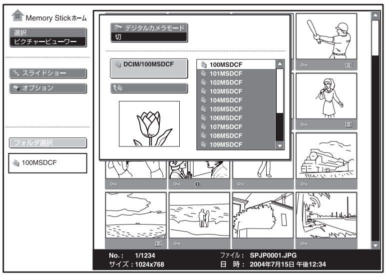
フォルダ選択メニューが表示されます。

現在選ばれているフォルダの中に含まれているフォルダ
現在選ばれているフォルダ



1 つ上の階層へ
現在のフォルダにある一枚目の画像ファイル

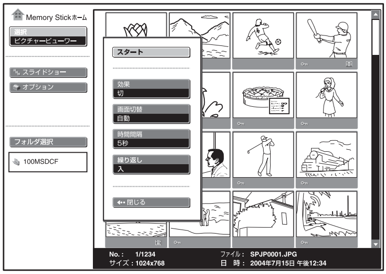
5 **⬇または⬆キーで現在選ばれているフォルダを選び、➡キーを押してフォルダ選択メニューを選ぶ。**



6 **プレゼンテーションしたいフォルダを選び ENTER キーを押す。**

選択したフォルダのタイトル名と1枚目の画像ファイルが表示されます。
表示されているフォルダ以外のフォルダを選択する場合は、➡キーを押してフォルダ選択メニューのスライダーを選び、⬇または⬆キーを押します。10 個のフォルダ単位（ページ単位）で次のフォルダが表示されます。

7 **Memory Stick ホームで「スライドショー」を選び、ENTER キーを押す。**



効果：スライドの現れかたを設定する。
画面切換：手動か自動を設定する。
時間間隔：静止画ファイルの 1 枚のスライドを表示する時間を設定する。手動のときは働きません。時間は目安です。
繰り返し：1 回のみ実行するか、繰り返し実行するかを設定する。

8 **各項目を選び、ENTER キーを押す。**

9 **設定をして ENTER キーを押す。**

10 **「スタート」を選び、ENTER キーを押す。**

スライドショーを実行するときは

スライドショーの「画面切換」の項目を「自動」に設定してあるときは、設定に従って自動的にスライドが送られます。動画ファイルへスライドされると、動画が自動的に再生され、終了すると次のスライドへ送られます。スラ

イドショーを終わりたいときは、キーまたはENTERキーを押してください。「手動」に設定してあるときは次のキーを押してください。

→：スライドを送りたいとき
←：スライドを戻したいとき
：スライドショーを終わりたいとき

◆「画面切換」の項目を「手動」に設定した場合は、動画ファイルは再生されずに1コマだけ表示され、→キーを押すと次のスライドへ送られます。動画を再生するには、「動画ファイルを表示する」(19ページ)をご覧ください。

実行せずMemory Stickホームに戻るには

「画像ファイルを表示する －ピクチャービューワー」(16ページ)の手順**10**で、スライドショーを実行せずにMemory Stickホームに戻るには、「閉じる」を選びます。

選択している画像からスライドショーを実行する

一覧表示されているサムネイル(インデックス画面)の画像から直接スライドショーを実行できます。

1 **↑、↓、←または→キーを押して、スライドショーを始めたい画像を選び、ENTERキーを押す。**

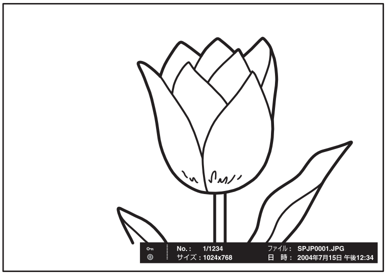
2 **↑または↓キーを押して、画像設定メニューの「スライドショー」を選び、ENTERキーを押す。**

全画面表示する

1 **サムネイル画面で画像ファイルを選び、ENTERキーを押す。**

2 **「全画面」を選んでENTERキーを押す。**

選んだ1枚が大きく表示されます。



全画面表示にした画像ファイルからスライドショーを実行するときは

次のキーを押してください。

→：スライドを送る(最後の画像ファイルで止まる)
←：スライドを戻す(最初の画像ファイルで止まる)
：Memory Stickホームに戻る

スライドショーをすぐに実行する

「画像ファイルを表示する」の**1**から**9**の準備をした後で、入力を切り換えても設定は記憶されています。

各設定をした後、スライドショーを始めたいときにリモコンのキーを押すと、入力が“メモリースティック”に切り換わり、もう一度キーを押すとスライドショーを始めることができます。終了したいときは、「画面切換」の項目が「自動」に設定してある

ときは、キーまたは ENTER キーを、「手動」に設定してあるときはキーを押してください。

動画ファイルを表示する

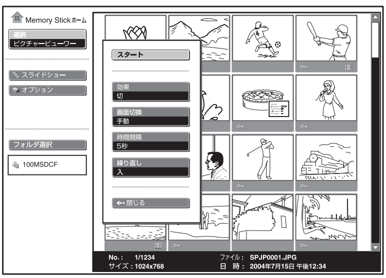
スライドショーの「画面切換」の項目を「手動」に設定したときには、ムービープレーヤーを表示して動画ファイルを再生します。また、サムネイル表示されている動画ファイルを選んで動画の再生をすることもできます。

ご注意

- 本機では、ソニー製品にて記録された以下の MPEG1 形式のファイルを再生することができます。（ごく稀にコマ落ちすることがあります。）
  MEPG MOVIE　AD/EX/HQ/HQX/CV、VAIO Gigapocket の MEPG1（ビデオ CD 相当）
- ムービープレーヤーは、スライドショーの画面切換の項目を「自動」に設定した場合は表示されません。

1「画像ファイルを表示するーピクチャービューワー」の手順 1-7 を行う。

2 スライドショー設定メニューの「画面切換」で「手動」を選ぶ。



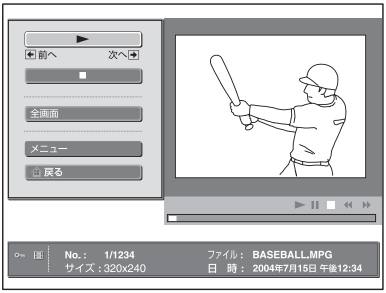
3 ENTER キーを押す。

4「スタート」を選び、ENTER キーを押す。

スライドショーを実行するときは

次のキーを押してください。
➡：スライドを送りたいとき
⬅：スライドを戻したいとき
：スライドショーを終わりたいとき
⬅または➡キーを押して動画ファイルにスライドされるとムービープレーヤーが表示されます。ムービープレーヤーの操作のしかたは以下をご覧ください。

[ムービープレーヤー]



►（再生 / 一時停止）： 再生するとき。再生中は、❚❚（一時停止）表示に変わります。
■（停止）： 再生を停止するとき。
全画面： 画面いっぱいに大きくしたサイズで再生するとき。
メニュー： 画像設定メニュー（インデックス）を表示するとき。

ガイド表示

⬅「前へ」： 動画停止中にスライドを戻すとき。再生中は、⬅「巻戻し」表示に変わります。

➡「次へ」：動画停止中スライドを送るとき。再生中は、➡「早送り」表示に変わります。

動画を再生するには

「►」を押す。
再生が始まります。再生が終了すると、動画ファイルの始めに戻り停止します。
再生中に停止したいときは、⬇キーを押して■を選び、ENTERキーを押します。

全画面再生するには

「全画面」を選び、ENTERキーを押す。
動画が画面いっぱいに大きく表示され、自動的に再生が始まります。再生中に⬆、⬇、⬅、➡キーまたはENTERキーを押すと、ムービープレーヤーが再表示されます。

ご注意

画像サイズが小さい場合、「全画面」を選んでも画面いっぱいには表示されません。

実行せずMemory Stickホームに戻るには

「戻る」を選びます。

スライドショーをすぐに実行する

「動画ファイルを表示する」の手順**1**から**3**の準備をした後で、入力を切り換えても設定は記憶されています。
各設定をした後、スライドショーを始めたいときにリモコンのキーを押すと、入力が“メモリースティック”に切り換わり、もう一度キーを押すとスライドショーを始めることができます。終了したいときは、キーを押してください。

サムネイル表示から動画の全画面再生をするには

1 動画ファイルを選び、ENTERキーを押す。

画像設定メニュー（インデックス）画面（動画）（22ページ参照）が表示されます。

2「ムービープレーヤー」を選び、ENTERキーを押す。

ムービープレーヤーが表示されます。

3「全画面」を選び、ENTERキーを押す。

自動的に再生が始まります。

動画ファイルを操作するには

「ムービープレーヤー」の「メニュー」を選び、ENTERキーを押す。
画像設定メニューが表示され、動画ファイルの情報を表示／非表示にしたり、音声を切り換えたり、大切なファイルを保護したり、ファイルを削除したりすることができます。

◆画像設定メニュー（インデックス）の操作については「画像ファイルを操作する」（21ページ）をご覧ください。

画像ファイルを操作する

画像ファイルを操作するには画像設定メニュー（22 ～ 23 ページ参照）を表示して操作します。

プレゼンテーションビューワー時

コンテンツを一枚表示または一覧表示してサムネイルを選び、ENTER キーを押すと画像設定メニューが表示され、スライドショーを実行または全画面表示することができます。
また、全画面表示中に ENTER キーを押すと画像設定メニューが表示され、画像情報を表示 / 非表示することができます。

ピクチャービューワー時

選択する画像ファイル（静止画 / 動画）によって、操作できる内容が異なります。

インデックス表示でサムネイルを選んだとき

サムネイルを選び ENTER キーを押すと、画像設定メニューが表示され以下の操作ができます。
画像ファイルを全画面表示する、スライドショーを実行する、大切な画像ファイルを保護する、表示画面を回転させる（静止画のみ）、スタートアップ時の画像ファイルを登録する（静止画のみ）、画像ファイルを削除する。

静止画ファイル全画面を選んだとき

静止画全画面表示中に ENTER キーを押すと、画像設定メニューが表示され以下の操作ができます。
画像ファイルの情報を表示 / 非表示する、大切な画像ファイルを保護する、表示画面を回転させる、スタートアップ時の画像ファイルを登録する、画像ファイルを削除する。

動画ファイル（ムービープレーヤー）を選んだとき

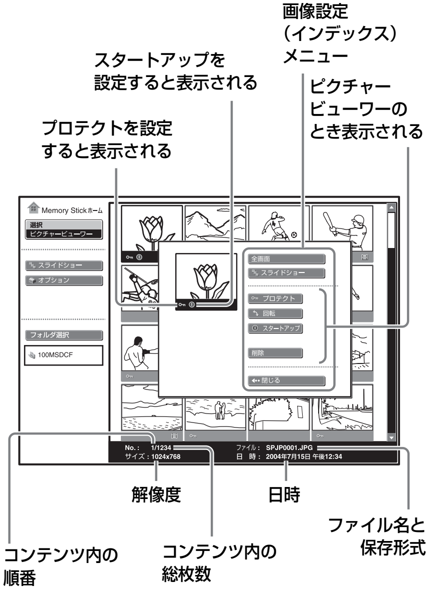
「メニュー」を選ぶと画像設定メニューが表示され、以下の操作ができます。
動画ファイルの画像情報を表示 / 非表示する、音声を切り換える、大切な動画ファイルを保護する、動画ファイルを削除する。

◆画像設定メニュー（インデックス）の操作について詳しくは、各項目の説明をご覧ください。

ご注意

動画の音声が以下の状態で記録されている場合は、この切り換えはできません。
・オーディオサンプリングレートが無効のとき
・オーディオ記録モードがモノラルのとき
・オーディオ記録モードが無効のとき

画像設定メニュー（インデックス）画面 （静止画）

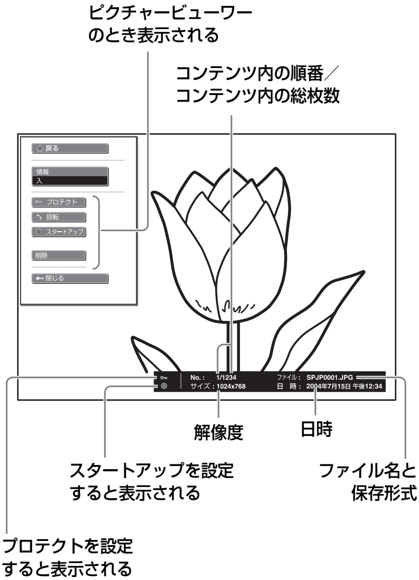


サムネイル表示された画像を選ぶときは、↑、↓、← または → キーを押します。
画像ファイルが 16 枚以上あるときは、下段の画像に移動し ↓ キーを押すか、右側の画像に移動し → キーを押してスライダーを選び、↓ キーを押すと他の画像ファイルを表示することができます。画像設定画面（インデックス）で キーを押すと、選んだ画像ファイルからスライドショーが始まります。

画像設定メニュー（インデックス）画面 （動画）

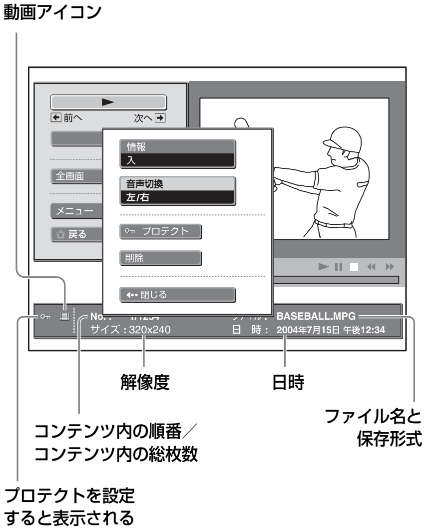


画像設定メニュー（全画面）画面（静止画）



複数の画像ファイルがあるときは、➡キーを押すと次にある画像ファイルを表示することができます。画像設定画面（静止画全画面）で ![] キーを押すと、Memory Stick ホームに戻ります。

ムービープレーヤー



ファイルを設定・表示する

大切な画像ファイルを保護する

消したくない画像ファイルを選び、「プロテクト」を「入」または「全画像入」に設定します。プロテクトマークがサムネイル表示の下に表示されます。

表示画面を回転させる

回転したい画像ファイルを選び、「回転」の方向を選択します。ENTER キーを押すごとに 90°ずつ回転します。

ご注意

プロテクトが設定されている画像ファイルは、回転させることはできません。

スタートアップ時の画像ファイルを登録する

プロジェクターの電源を入れたときに表示される“メモリースティック”内の画像ファイルを登録することができます。
「スタートアップ」を「登録」に設定します。「登録」に設定するとスタートアップマークがサムネイルの下に表示されます。
登録した画像ファイルをスタートアップ画面として使いたいときは、設定画面の「スタートアップ」を「カスタム」に設定してください（29 ページ参照）。

スタートアップの登録を解除するには

1 一覧表示されているサムネイルから画像設定メニュー（静止画）を表示し、「スタートアップ」を選び、ENTER キーを押す。

2 ↑または↓キーを押して「解除」を選び、ENTER キーを押す。

ご注意

「カスタム」の設定は“メモリースティック”に登録されますので、登録した画像ファイルをスタートアップ画面に使いたいときは、プロジェクターの電源を入れる前に“メモリースティック”を入れてください。

画像ファイルを削除する

選択した画像ファイルまたは、選んだコンテンツの画像ファイルすべてを削除することができます。

1 「削除」を選び、ENTER キーを押す。

2 項目を選び、「選択されているファイルを削除します。よろしいですか？」または「全てのファイルを削除します。よろしいですか？」が表示されたら「はい」を選び、ENTER キーを押す。

全画像： 選んだコンテンツの画像ファイルをすべて削除するとき
選択画像： 選択した画像ファイルを削除するとき
閉じる： 画像ファイルを削除しないとき

ご注意

プロテクトが設定されている画像ファイルは削除することはできません。

画像ファイルの情報を表示 / 非表示する

画像ファイルを選び、全画面（静止画）の画像設定メニューまたはムービープレーヤーにある「メニュー」内の「情報」を選んでENTERキーを押し、情報を表示したいときは「入」に設定します。画像ファイルの情報が画面の下に表示されます。情報を表示したくないときは、「切」に設定します。
プレゼンテーションビューワーを選んだ場合は、画像ファイルの番号とサイズ（解像度）、ピクチャービューワーを選んだ場合は、画像ファイルの番号、サイズ（解像度）、ファイル（ファイル形式）、日時（撮影日時）が表示されます。

ご注意

パソコンで加工した画像は、撮影日時ではなく、更新した日時が表示される場合があります。

動画の音声を切り換える

1 動画ファイルを選び、ENTERキーを押す。

2 「ムービープレーヤー」を選び、ENTERキーを押す。

3 「メニュー」を選び、ENTERキーを押す。

4 「音声切換」を選び、ENTERキーを押す。

左／右： 左右両方の音声が聞こえます。

左： 左音声が聞こえます。

右： 右音声が聞こえます。

ご注意

動画の音声が以下の状態で記録されている場合は、この切り換えはできません。
- オーディオサンプリングレートが無効のとき
- オーディオ記録モードがモノラルのとき
- オーディオ記録モードが無効のとき

画像ファイルをソートする

フォルダーの中の画像ファイルを、名前順（昇順 / 降順）または更新日時順（昇順 / 降順）に並び替えることができます。

1 Memory Stick ホームを表示し「オプション」を選び、ENTERキーを押す。

2 「ファイル」を選び、➡キーまたはENTERキーを押す。

3 「並び替え」を選び、ENTERキーを押す。

4 設定したい項目を選び、ENTERキーを押す。

ご注意

- パソコンで加工した画像は、表示される日時（撮影日時）と更新日時は異なる場合があります。
- 「デジタルカメラモード」が「入」に設定されていると、「並び替え」を行うことができません。「デジタルカメラモード」については「デジタルカメラで撮った画像ファイルのみ表示する」（27ページ）をご覧ください。

静止画だけ / 動画だけ表示する

フォルダーの中の静止画ファイルだけ表示したり、動画ファイルだけ表示することができます。

1 **Memory Stick ホームを表示し「オプション」を選び、ENTER キーを押す。**

2 **「ファイル」を選び、➡ キーまたは ENTER キーを押す。**

3 **「フィルタ」を選び、ENTER キーを押す。**

4 **設定したい項目を選び、ENTER キーを押す。**

静止画：静止画のみ表示するとき。
動画：動画のみ表示するとき。
切：フィルタをかけずに全てのファイルを表示するとき。

ご注意

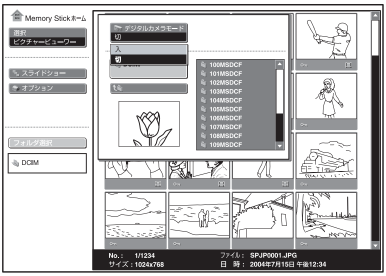
「フィルタ」が設定されているときは、Memory Stick ホームの右下に現在設定されているフィルタ名（「静止画」または「動画」）が表示されます。

デジタルカメラで撮った画像ファイルのみ表示する

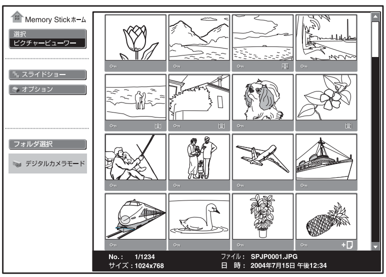
DCF 準拠のデジタルカメラで撮った JPEG、MPEG1 形式の画像ファイルだけを表示することができます。

1 Memory Stick ホームで「フォルダ選択」を選び、ENTER キーを押す。

2「デジタルカメラモード」を選び、ENTER キーを押す。



3「入」を選び、ENTER キーを押す。



+□ : 関連ファイル（“メモリースティック”内に下 4 桁が同じ名前を持つファイル）が存在すると表示されます。

ご注意

- “メモリースティック”内にデジタルカメラで撮った画像ファイルが 4000 枚以上あるときは、デジタルカメラモードを選択することはできません。
- ソニー製デジタルカメラの Voice Memo（ボイスメモ）機能を使って撮影した場合は、静止画のみ表示されます。
- 関連ファイルアイコン（+□）の表示されているファイルを削除するときは、関連ファイルも同時に削除されます。

プレゼンテーションを自動的に始める
−オートラン

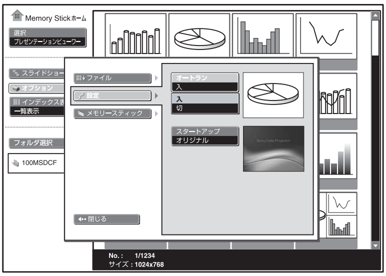
あらかじめ Projector Station for Presentation や、「ファイルのオートラン設定をする」（15 ページ）で画像ファイルにオートランの設定をしておくと、“メモリースティック”を入れるだけで自動的に入力が“メモリースティック”に切り換わり、スライドショーを始めることができます。

オートラン機能を設定するには

1 Memory Stick ホームを表示し、「オプション」を選び、ENTER キーを押す。

2「設定」を選び、➡ または ENTER キーを押す。

3「オートラン」を選び、ENTER キーを押す。



4「入」を選び、ENTER キーを押す。

オートラン機能を使わないときは

「オートラン」を「切」に設定してください。

ご注意

・Projector Station for Presentation や、「ファイルのオートラン設定をする」（15 ページ）でオートランの設定をしていないと、Memory Stick ホームでオートランを「入」にしてもオートラン機能を使ってスライドショーを始めることはできません。
・JPEG 形式の画像ファイルにオートランの機能を使いたいときは、Projector Station for Presentation でプレゼンテーション資料として作成し、オートランの設定をしてください。

電源を入れたときに任意の画像ファイルを表示する

ースタートアップ

プロジェクターの電源を入れたとき、選んでおいた画像ファイルを約30秒間投影することができます。

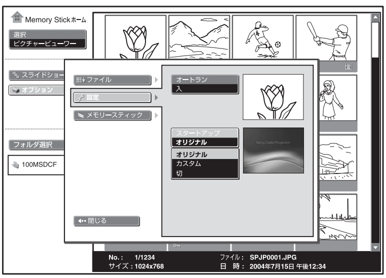
◆登録した画像ファイルをスタートアップファイルとしてお使いになる場合は、画像設定メニュー画面で画像ファイルの登録をしておいてください（24ページ参照）。

◆XGA （1024 × 768）よりも大きなサイズ（解像度）の画像ファイルを登録した場合、正しくスタートアップ画面が表示できない場合があります。

1 **Memory Stick ホームを表示し、「オプション」を選び、ENTER キーを押す。**

2 **「設定」を選び、➡ または ENTER キーを押す。**

3 **「スタートアップ」を選び、ENTER キーを押す。**



4 **スタートアップ画面として使う項目を選び、ENTER キーを押す。**

オリジナル：プロジェクターにあらかじめ登録してある画像ファイルを使うとき。オリジナル画像は変更することはできません。

カスタム：画像設定メニュー画面で登録した“メモリースティック”内の画像ファイルを使うとき。

切：スタートアップ画面を設定しないとき。

ご注意

・「カスタム」に設定して使うときは、スタートアップの登録をしてある画像ファイルが入った“メモリースティック”をプロジェクターに入れてから電源を入れてください。

・スタートアップは、“メモリースティック”1枚につき1つだけ登録することができます。

便利な機能

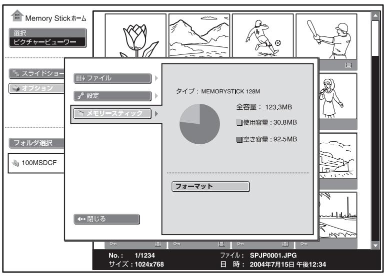
“メモリースティック”の情報を見る

使用している“メモリースティック”のタイプ、全容量、使用容量などを表示することができます。また Memory Stick ホームの右下に表示されている“メモリースティック”の残量表示で、“メモリースティック”使用状態を確認することができます。

1 **Memory Stick ホームを表示し、「オプション」を選び、ENTER キーを押す。**

2 **「“メモリースティック”」を選ぶ。**

使用している“メモリースティック”の情報が表示されます。



Memory Stick ホームに戻るときは

「閉じる」を選びます。

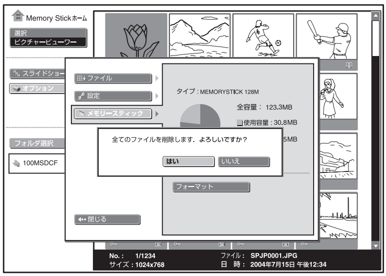
“メモリースティック”をフォーマットする

“メモリースティック”が使用できないときは、本機でフォーマット（初期化）してください。
フォーマットすると“メモリースティック”に記録してあるデータはすべて削除されますのでご注意ください。

1 **Memory Stick ホームを表示し、「オプション」を選び、ENTER キーを押す。**

2 **「“メモリースティック”」を選び、➡ または ENTER キーを押す。**

3 **ENTER キーを押す。**



4 **「全てのファイルを削除します。よろしいですか？」が表示されたら「はい」を選び、ENTER キーを押す。**

フォーマットを開始します。

フォーマットしないで Memory Stick ホームに戻るときは

「閉じる」を選びます。

ご注意

- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。
- 誤消去防止ツマミが「LOCK」されている場合、フォーマットを実行しようとすると「“メモリースティック”がロックされています。」というメッセージが表示されます。
- フォーマット中はMemory Stickホームのキー操作はできません。

故障かな？と思ったら

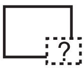
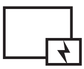
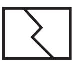
修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。
以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

症状	原因と対処
“メモリースティック”が挿入できない。または奥まで挿入できない。	・“メモリースティック”の向きが逆になっている。 ➔“メモリースティック”向きを確認し矢印の方向に入れてください。
保存ができない。	・すでにメモリー容量いっぱいに保存している。 ➔不要なファイルを消去してください。 ・“メモリースティック”の誤消去防止ツマミが「LOCK」になっている。 ➔「LOCK」を解除してください。
ファイルを消去できない。	・“メモリースティック”の誤消去防止ツマミが「LOCK」になっている。 ➔「LOCK」を解除してください。 ・ファイルがプロテクトされている。 ➔画像設定メニュー画面でプロテクトを解除してください。
全消去が実行できない。	・“メモリースティック”の誤消去防止ツマミが「LOCK」になっている。 ➔「LOCK」を解除してください。 ・ファイルがプロテクトされている。 ➔画像設定メニュー画面でプロテクトを解除してください。
フォーマットが実行できない。	・“メモリースティック”の誤消去防止ツマミが「LOCK」になっている。 ➔「LOCK」を解除してください。 ・“メモリースティック”がこわれている。 ➔別の“メモリースティック”をご使用ください。
Projector Station for Presentation からプロジェクター本体のメモリースティック スロットに挿入された“メモリースティック”にアクセスできない。	・本機では対応していません。 ➔コンピューターのメモリースティック スロットや“メモリースティック”用の外付け USB 機器やアダプターを使用して“メモリースティック”にアクセスしてください。

症状	原因と対処
“メモリースティック” に保存されている JPEG 形式の静止画ファイルが表示できない。	・「オプション」メニューで「フィルター」が設定されている。 ➔「フィルター」を「静止画」または「切」に設定してください。
“メモリースティック” に保存されている MPEG1 形式の動画ファイルが表示できない。	・「オプション」メニューで「フィルター」が設定されている。 ➔「フィルター」を「動画」または「切」に設定してください。
画像が投影されず  または  マークが表示される。	・DCF 準拠のファイルではない。 ➔Projector Station for Presentation で資料を作成してください。
動画再生時に画像や音が途切れることがある。	・故障ではありません。 ➔本機で再生できる動画ファイルの形式については 19 ページをご覧ください。
動画の全画面再生中に画面の上下に黒い帯が見える。	・プロジェクター本体側のメニューで「ワイドモード」の設定が「入」になっている可能性がある。 ➔「ワイドモード」の設定については、別冊のプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

画面表示について

下記の表示が出た場合は、Projector Station for Presentation でプレゼンテーション資料を作り直してください。

	対応できない JPEG 形式または MPEG 形式。
	サムネイルはあるが、DCF 準拠ではない。
	指定されている画像ファイルがない。
	画像ファイルはあるが、サムネイルがこわれている。
	画像ファイルがこわれている。

“メモリースティック”使用中の警告メッセージについて

メッセージ	原因と対処
“メモリースティック”がありません。	→“メモリースティック”をメモリースティック スロットに正しく挿入してください。
表示できるファイルがありません。	→プレゼンテーション資料が存在しません。 →デジタルカメラモード時に、DCF 準拠の画像ファイルが存在しません。
このフォルダには表示できるファイルがありません。	→現在選ばれているフォルダ内に画像ファイルが存在しません。
このフォルダには表示できる動画ファイルがありません。	→「オプション」メニューの「フィルタ」設定が「動画」になっていますが、現在選ばれているフォルダ内に動画ファイルが存在しません。
このフォルダには表示できる静止画ファイルがありません。	→「オプション」メニューの「フィルタ」設定が「静止画」になっていますが、現在選ばれているフォルダ内に静止画ファイルが存在しません。
再生できるファイルがありません。	→現在選ばれているフォルダ内に画像ファイルが存在しないときに、 キーによりスライドショーを開始することはできません。
再生できません。	→動画ファイルの画像データが壊れています。
“メモリースティック”がロックされています。	→“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。 解除してください。
“メモリースティック”エラー	→“メモリースティック”が壊れています。 →“メモリースティック”の端子部が汚れています。 →“メモリースティック”(メモリーセレクト機能付)のメモリーセレクトスイッチの切り換えが不充分です。
“メモリースティック”タイプエラー	→本機では対応していない、または使用できない“メモリースティック”です。
フォーマットが必要です。	→“メモリースティック”が正しくフォーマットされていません。フォーマットし直してください。 →フォーマットが失敗したときにも表示されます。
ファイルエラー	→現在選ばれているフォルダ名が正しくありません。 →フォルダ選択メニュー画面で、「/」を含めて半角 66 文字以内の名前にしてください。
読み出し専用の“メモリースティック”です。	→あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。 データの記録や消去はできません。

メッセージ	原因と対処
アクセスは禁止されています。	➔他機でアクセスコントロールをかけている“メモリースティック”が挿入されています。 データの読み書きはできません。読み書きするには、アクセスコントロールをかけた機器で解除してください。

その他

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：0586-25-6170
（電話のおかけ間違いにご注意下さい）

受付時間：月～金曜日　午前９時～午後８時
土日、祝日　午前９時～午後５時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡ください。修理に関する御案内をさせていただきます。

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1